

平成27年度 長崎県立豊玉高等学校 学校評価(教職員自己評価) 総括評価

評価の規準

4:十分に達成している

目標に対して具体的方策が順調に進行しており、当初の成果が得られていると判断される状態
 具体的方策を実施中であり、漸次その成果を検証しつつある状態

3:ほぼ達成している

改善に向けて共通理解を持ち、具体的方策の実行に着手しつつある状態
 改善の必要性に対して理解があり、具体的方策に対して取り組もうとしている状態

2:どちらかという達成されていない

改善の方向性を持っているが、共通理解が十分ではなく全体として停滞が目につく状態
 改善の方向性を探っている状態

1:ほとんど達成されていない

問題意識は持っているが、手つかずの状態
 現状に満足し、問題意識まで考えが及んでいない状態

本年度の努力目標①	人間関係力の育成				
	端正な頭髪・服装を心がけ、自ら進んで挨拶をする生徒を育成する。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	保護者・生徒アンケートで「生徒は端正な頭髪・服装を心がけ、自ら進んで挨拶をしている」と答える生徒の割合が95%を超えることを目指す。	支援課	97.6%	3.25	3.73
2	良好な人間関係構築のため、正しい言葉遣いやルール厳守の指導を行うとともに、スタイリングアップ運動を通して容儀検査合格率90%以上を目指す。	支援課	1年 88.6% 2年 76.2% 3年 90.1% 全校85.0%	2.77	3.20
3	担任・家庭との連携を通して、生徒への早めの対応を心がけ、出席率98%以上を目指す。ただし、年間欠席日数が30日以上の生徒を除く。	全学年 支援課	1年 99.6% 2年 97.5% 3年 98.3% 全校 98.5%	3	3.93

本年度の努力目標②	学力の向上と進路目標の達成				
	目的意識を持って、意欲的に学習に取り組む生徒を育成する。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	朝自学・読書の出席率100%を目指す。	学務課	1月まで 97.6%	3.08	3.47
2	校内検定の意識高揚を図り、生徒アンケートで、検定が有意義であると答える生徒の割合が80%を超えることを目指す。	学務課	65.1%	2.5	2.60
3	各定期考査前に成績不振者への指導を行い、各学期考査での欠点保持者の割合が、全体の1割未満になることを目指す。	全学年 学務課	全校11.3%	3.17	3.00
4	総学の時間やインターンシップ、修学旅行を通して将来の目標を具体的に考えさせ、1・2年次の進路希望未定者0を目指す。	1学年 2学年	1年 1名 2年 0名	2.77	3.50
5	生徒の進路希望に沿い、保護者との連携を図り、3年生の100%の進路実現を目指す。(卒業時受験結果未発表者を除く)	3学年	92.8%	3	3.47

本年度の努力目標③	部活動と特別活動の活性化				
	集団生活に積極的に参加し、克己と協調の精神を備えた生徒を育成する。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	年間4回以上、専門委員会を開く。	支援課	予定通り実施	4	3.93
2	生徒アンケートで、部活動への取り組みが有意義であると答える生徒が85%を超えることを目指す。	支援課	81.3%	3.5	3.07

本年度の努力目標④	勤労と奉仕の精神の啓発				
	勤労やボランティア活動をとおして、思いやりのある生徒を育成する。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	ボランティア活動への生徒1人あたりの参加回数が、平均2回以上になることを目指す。	支援課	延べ121人参加 平均 2.6回	3.23	4.00

本年度の努力目標⑤	家庭や地域との連携				
	開かれた学校づくりのため、家庭・地域との連携及び情報発信を積極的に行う。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	PTCA総会(PTCA報告会を含む)の参加率70%以上を目指す。	学務課	68.1%	2.69	3.07
2	「豊高だより」「進路だより」の発行やHPの更新など、広報活動を活性化し、保護者アンケートで「学校の情報発信に満足である」と答える割合が80%を超えることを目指す。	学務課 支援課	85.3%	3.27	3.86

本年度の努力目標⑥	いきいきとした学校づくり				
	教職員と生徒全員が、いつも元気で澁刺としている豊玉高校を目指す。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	生徒と教員による朝のあいさつ運動を各学期2回実施し、いきいきとした学校の雰囲気を作る。	支援課	予定通り実施	3.77	4.00
2	毎月全校集会を実施し、生徒の活動報告をするとともに、職員から生徒に向けた講話を企画する。	支援課	実施回数7回	3.08	3.93

本年度の努力目標⑦	業務のマニュアル化				
	現行の業務を見直すとともに引継ぎ等をマニュアル化し、業務の効率化を図る。				

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	各学期毎に点検・確認する。	学務課	ほぼ完了	3.54	4.00

その他

No	具体的方策	主担当	総括実績	中間評価	総括評価
1	生徒の図書貸出冊数年間1人あたり9冊を目指す。	学務課	7.7冊	2.46	2.93
2	定期的な省エネルギー点検を実施し、光熱水使用量の前年度比1%削減を目指す。	事務	電気 -4.0% 水道 -1.0% ガス +1.0% 灯油 +12.0%	2.94	3.24
3	施設の定期点検を実施し、施設の不備による「事故0」を達成する。	事務	0件	3.94	4.00
4	人権教育を年2回以上行い、周囲や相手のことを思いやって生活できる生徒を育てる。	支援課	8月に平和学習、11月に人権学習実施。	3.62	3.87
5	地域清掃を年2回以上行い、身近なところから環境問題に関心を持たせる。	支援課	6・10月 2回実施	4	3.93